

//////////  
いわて マナビィ マガジン

No.154 2018.2.23  
//////////

余寒なお厳しい日々が続いているこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨日は、当センター研修事業の最後である「子育て・家庭教育相談担当者研修会Ⅱ」を実施し、100名を超える皆様にご参加いただきました。

講師には昨年度も大好評で「今年もぜひ」という声にお応えして、常磐大学大学院 教授の秋山邦久氏を招聘し、「続『個の問題に応じた家族支援のあり方』」と題しての講義でした。

今年度もアンケートから大変好評であったことがわかりました。参加いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、今後の相談業務に生かしていただければと思います。

さて、今回は、県教委生涯学習文化財課で例年実施している「岩手県子どもの読書状況調査」の結果についてお伝えします。  
(文責：本調査の担当 澤柳健一社会教育主事)

\*\*\*\*\*

#### 生涯学習文化財課情報

\*\*\*\*\*

岩手県教育委員会では、県内における児童生徒の読書活動に係る実態調査である「岩手県子どもの読書状況調査」を毎年実施しております。

本年度も、県内の全公立小・中・高等学校を対象に、昨年10月（1か月間）の読書状況について調査いたしました。

このほど、調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。  
(詳しくは下記リンク先を御覧ください。)

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/mamabinohondana/pdf/29kodomodokusyo.pdf>

本年度の調査結果を昨年度と比較いたしますと、一人当たりの1か月の

平均読書冊数は、小学校5年生は13.4冊から16.4冊へ、中学校2年生は4.2冊から4.5冊へと増加しております。

また、高校2年生は昨年度と同数の2.4冊ではありますが、1か月に1冊も本を読まなかった生徒の割合（不読者率）は27.2%から22.1%と大きく減少しております。

参考までに（公社）全国学校図書館協議会による平成29年度の調査によれば全国平均は、小学校11.1冊、中学校4.5冊、高校1.5冊となっています。

このことから、読書に親しむ本県の児童生徒の割合は確実に増加している状況であるといえます。

これは、各学校における読書活動の取組、図書館ボランティアによる環境改善の取組及び読み聞かせ等による読書へ親しむきっかけづくりなど、子どもの読書活動の推進に関わった皆様のおかげによるところが大きいということはいうまでもありません。

皆様の日頃のご取組・御協力に感謝申し上げます。

さて、岩手県教育委員会では、更なる子どもの読書活動の推進に向けて、これまで2つのブックリストを作成し、県内すべての小中高生に配付しております。

中高生向け

「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」（いわ100）

小学生向け

「いわての小学生のためのおすすめ図書100選」（いわ100きっず）

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/mamabinohondana/kodomonodokushokatudou.html>

特に、中高生向けブックリスト「いわ100」は発行から7年が経過し、リストの中には廃版となったこと等により購入不可能な本も出てきたことから、本年度内の完成を目指し改訂版の作成に鋭意取り組んでおります。

100冊のリスト中約半数となる47冊がリニューアルされる予定です。

完成の際には、改めてお知らせいたしますので、どうぞご期待ください。



このメールマガジンは、県内小・中学校、義務教育学校、社会教育関係者及び生涯学習・社会教育に関心を持たれている登録者の皆様に無料で配信しています。ご意見・ご感想、登録・登録解除は下記アドレスにご連絡ください。⇒ E-mail ; [takashi-kuji@pref.iwate.jp](mailto:takashi-kuji@pref.iwate.jp)

メルマガのバックナンバーをセンターHP「まなびネットいわて」で閲覧できます。⇒ <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

左下の「発行物・刊行物」>「いわてマナビィマガジン」をクリック



発行：岩手県立生涯学習推進センター（花巻市北湯口 2-82-13）

編集：久 慈 孝